

デイサービスやまだいふれあいの家 第3回運営推進会議 記録

日時:平成29年11月10日 13:15~14:05

会場:やまだいふれあいの家 寺子屋

- 事業者名/所在地:社会福祉法人やまだい福祉会/岸和田市今木町160番地
- 事業所名/所在地:デイサービスやまだいふれあいの家/岸和田市田治米町425-1
- サービス種類:地域密着型通所介護(第二種社会福祉事業 老人デイサービスセンター)
- 出席者内訳:

分類	所属ほか	人数
地域住民の代表	民生委員	1名
地域包括支援センター	地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷職員	1名
利用者	利用者	2名
知見を有する者	介護福祉施設職員(他法人)	1名
事務局	施設長およびデイ管理者	2名

1. 開会あいさつ

*施設長から本会議の案内が遅れたことについて、委員に対して陳謝をし、本日の委員の出欠状況の報告をした。

2. デイの概要と運営状況ほかについて

*施設長から資料に基づき、概要・運営状況・地域貢献事業の取組などについて説明を行った。

3. 平成30年度介護報酬改定の動向について

*施設長から新聞記事や社会保障審議会の介護給付費分科会に提出された資料に基づき、現在の介護業界の動向について説明を行った。

4. 委員からの意見・評価など

(「⇒」は意見等に対する事務局や委員からの回答)

- 本年8月に排水トラブルによる浴槽の大掛かりな修繕工事をしたとのことだが、市から補助はでないのか?

⇒(事務局)そういった類の補助金は出ることはないですね・・・。

- 介護給付費分科会に出された資料「平成29年度介護事業経営実態調査結果の概要(案)」について、貴事業に当てはまる地域密着型通所介護の2.0%もそうだが、全般的に介護事業は利益率が低すぎる、一般企業でも公表は5%ぐ

らいあるものだが・・・。

⇒（事務局）地域密着型通所介護の収支差率 2.0%についてですが、基本的にこのタイプのデイで多い定員 10 名を例に挙げてみると、多くて総収入(いわゆる売上)は年間 2,000 万円くらいだと思います。それで、収支差率 2.0%となると、年間 40 万円の収益です。40 万円で一体なにができるのかと思えてなりません。財務省はこの数字だけ見がちですが、実際の財政規模を鑑みずに高いと判断されるのはおかしいのではないかと考えています。

●緩和型サービスについて、利用者側のメリットはなにかあるのか？

⇒（事務局）入浴は保険外になり、利用時間は短くなるケースが多いと思われるので、メリットはないと思います。

⇒（他委員）利用料については、現在の月定額料金から基本的に日割計算になり、利用回数が多くても今よりも低い金額での最大料金があるという構成になっているため、利用料という意味ではメリットかもしれません。

●難しいパズルに取り組んでいるものの、もう 1 か月以上作業している・・・完成する瞬間が楽しみ。

⇒（他委員）やろうという意欲がすごいと思う。

⇒（他委員）良いことです。頭を使うことは大事です。

⇒（事務局）気長に無理することなく取り組んでもらえれば良いかなと思います。

●入浴支援モデル事業については、市から費用は出されないのか。

⇒（事務局）報償費のようなものは出たと思うのですが、50 円とか 100 円とかそのあたりだったように思います。（会議終了後、報償費の確認をしたところ、一回当たり 200 円だったことが判明しました。）

5. 次回開催予定…平成 30 年 5 月

配布資料：レジュメ、委員名簿（資料 1）、デイの概要と運営状況ほかについて（資料 2）、平成 30 年度介護報酬改定に関する資料（資料 3）

※配布資料については、個人情報保護および経営戦略上の事由から掲載いたしません。